

## 学生アンケート調査結果の報告

2006年4月実施新入生編

平野 緑・高橋 徹

愛知みずほ大学人間科学部人間環境情報学科

本学では2000年4月に初めて「学生意見調査」を実施し、2001年度の「自己点検・評価報告書」として取りまとめた。次に実施したのは2005年4月で、学生アンケート調査の結果報告としてまとめた。本報告は2006年4月に実施したアンケートのまとめである。但し、今回は新入生に対してだけ実施した。このアンケートにより、新入生がどのような目的と期待と不安を持って本校に入学してきたのか、その姿の一部を伺うことができたと思う。このことにより、大学側のより適切な対応の材料になればと思う。

アンケート回答者数は以下の通りで、入学者のほぼ全員である。

表1 アンケート回答者数

	1回生	編入生	計
健康	105	29	134
心理・カウンセリング	45	4	49
人間福祉	19	1	20
人間環境情報	7	1	8
計	176	35	211

Q1. 本学(愛知みずほ大学)の名前を何で知りましたか。(複数回答可)

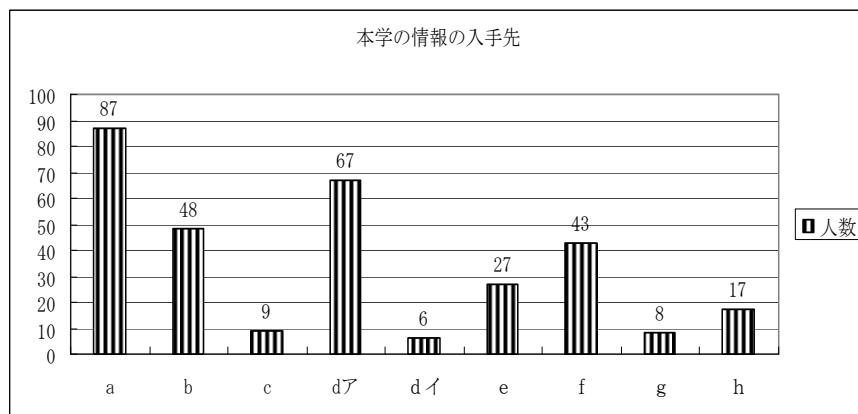
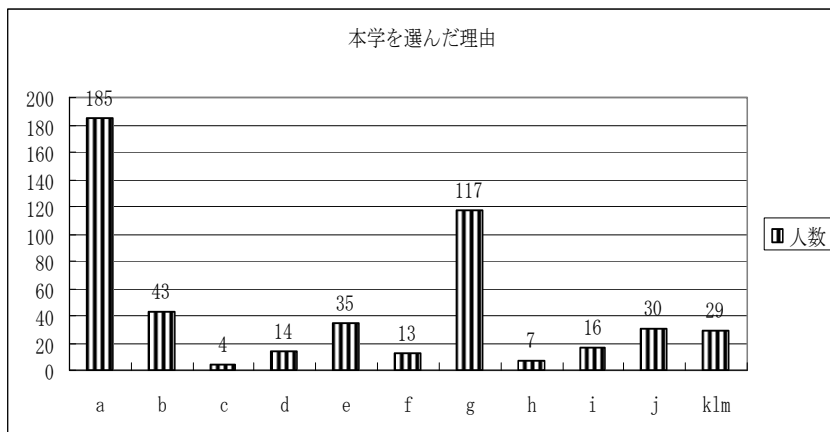


図1 本学の情報の入手先

本学(愛知みずほ大学)の名前を知った情報源は、新入生・編入生・男女問わず、在学している学校の「先生からの情報」と答えた学生が最も多く、つづいて「学校でみたパンフレット」、「先輩・友人の進め」、「ホームページを見て」という回答が多かった。また、学外での情報源としては「ホームページを見て」が最も多く、次は「情報雑誌の大学案内資料を見て」、「新聞広告や駅での広告を見て」と続く。昨年との比較では「先輩・友人の進め」が増えている。ホームページは5人に1人が見ている。昨年の6人に1人より割合は増えている。

Q2. あなたが本学を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



- a 勉強したい分野
- b 学力に合っている
- c カリキュラム適切
- d 指導が良い
- e 少人数教育
- f チューター制
- g 資格取得
- h 就職率
- i 学費安い
- j 先生の薦め
- klm 知人の薦め

図2 本学を選んだ理由

学生が本学を選んだ理由としては、新入生・編入生・男女問わず「自分が勉強したい分野である」と答えた学生が最も多く、続いて「目指す資格を取得するため」、「自分の学力に合っている」「少人数教育に関心を持ったので」、「先生の薦め」という回答が多かった。アンケートの結果では「自分が勉強したい分野である」、「目指す資格を取得するため」と回答した学生が突出して多く（昨年度も同様）、自分の将来に向け目的意識を持って入学している学生が大半であるといえる。しかし、上記の学びたい意欲に対し「カリキュラムの内容が適切」と回答した学生は4名しかおらず、これはパンフレット、ホームページ等の説明が足りないことに原因があると思われる。さらに説明不足の点は、Q4の学習に不安を持っていることと関係があるかもしれない。

g「資格取得のため」本学を選んだ学生たちが目指す資格は以下の通りである。

表2 コースごと目指す資格

	教員免許	保健体育	養護	スポーツ関係	医療関係	社会福祉士	心理士	その他
健康	16	23	27	12	3			
心理			16					3
福祉						3		
環境								1
合計	16	23	43	12	3	3	3	1

取得したい資格の内容は、教員免許では①養護教諭4名②保健体育2名③教員免許（種類の記載なし）16名。教員資格は健康コースでは6名（コース内49%昨年と同率）が希望している。

Q3. あなたは、入学したら参加したい部、サークルがありますか。

表3 参加したい部、サークルの内訳

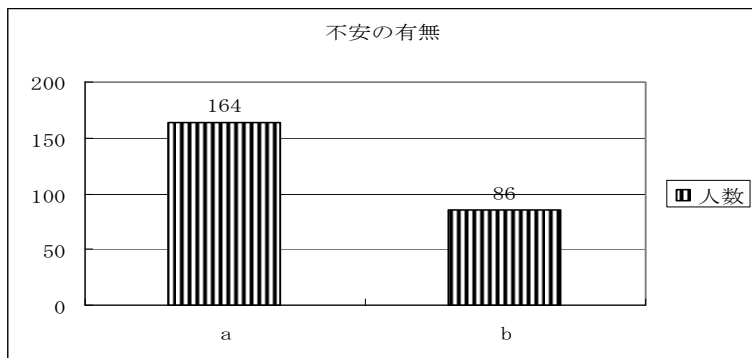
	学内	学外
サッカー部	10	空手
バスケット部	8	ハンドボール
テニス部	7	バレーボール
野球部	6	中区赤とんぼボランティアサークル
バレーボール部	5	茶道
バドミントン	4	トライアスロン、陸上競技
陸上部	3	バドミントン
水泳部	2	フットサル
軟式野球部	2	ラグビー

フットサル部	2	
軽音楽部	1	
*吹奏楽部	1	
スポーツサークル	1	
ソフボール部	1	
卓球部	1	
ダンス部	1	
演劇部	1	
計	56	計 9

\*吹奏楽部を作りたいです。

昨年度より部活への参加意欲は大きい。(昨年 54→56 、昨年 7→9)

Q4. 現在、あなたが不安に思うことはありますか。



a ある  
b ない  
(あるに○をつけた学生は複数の不安をもっているためa+bはデータ総数より多い)

図3 不安の有無

次にあると答えた内容を新入生・編入生で分析した。

aある (ア学習 イ心身 ウ友人づくり エ経済 オその他) bない (下図)

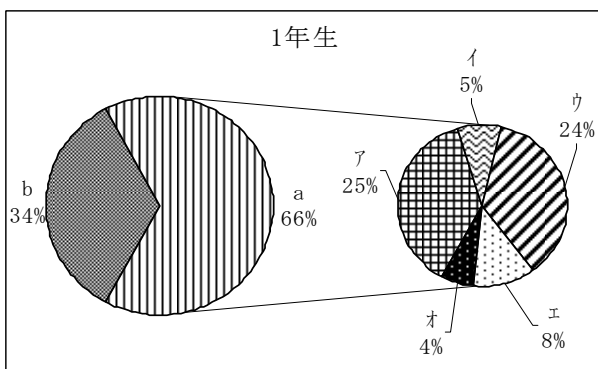


図4 1年生の不安

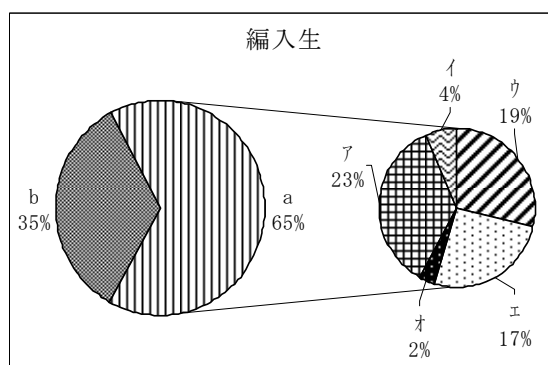


図5 編入生の不安

現在抱えている不安の割合は、新入生・編入生はほぼ同一な結果になったが、経済的な不安の割合は編入生が高い。

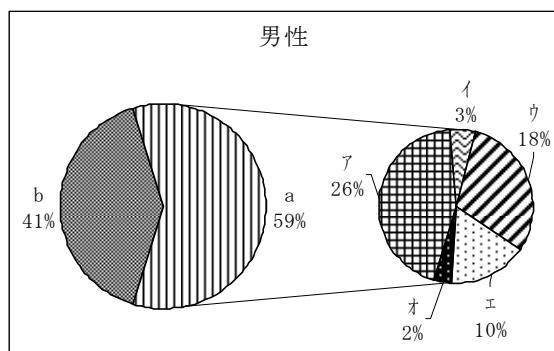


図6 男性の不安

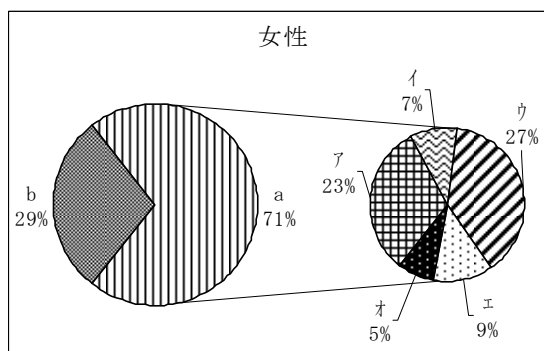


図7 女性の不安

男女別では、若干ではあるが、男性側の方が「不安はない」と回答する学生が多い結果となった。不安の内容の具体的記述は147件（1人あたり0.70件）で、ア「学習関係」38.7%、ウ「友人づくり」34.0%、エ「経済的問題」13.6%、イ「心身の健康」8.2%、オ「その他」4.8%である。

表4 不安項目ごとコース内の割合

	学習	心身	友人	経済	その他				
健康	27	26%	5	5%	23	22%	11	10%	5
心理	12	27%	6	13%	15	33%	4	9%	1
福祉	5	25%	0	0%	2	11%	0	0%	0
環境	4	50%	0	0%	2	29%	0	0%	0
編入	9	26%	1	3%	8	23%	6	17%	1

\*網掛け部分は項目内で一番高いコース内の割合。

悩み事をコースごとに分析してみると、学習面では環境が、心身の面では心理が、友人面では同じく心理が、経済面では編入生がそれぞれ高い値を示していて、データは少ないながらこの状況は推測どおりである。心理の学生の精神的弱さ、編入生の経済的困難さが現れている。

表5 「学習関係の不安」の内訳

勉強についていけないか	28
英語についていけないか	11
2年で教員免許取れるかキラムか（編入生）	8
時間割の決め方	5
何を学ぶのか	2
水泳が苦手（福祉）	1
体育が苦手（心理）	1
自分に向いている学習内容か	1
計	57

ここでは、「英語についていけないか」が目立つ。昨年度も2番目に多かったが学生の英語の苦手意識は大変強いものである。「資格が取得できるか」は編入生からのもので2年間で必要単位が取れるか心配している。

表6 「心身の不安」の内訳

ヘルニアが心配
学校等へ行くとすぐ腹痛がする
一人暮らし心配
寂しがりやで、心身が弱い
きちんとした生活がおくれるか
全身にアトピー性皮膚炎

精神的に弱いため  
 風邪を引きやすいため  
 実家から離れて生活するので心配  
 風邪や病気をしやすいので1人暮らしをするのに当たって心配  
 カゼをひきやすい、情緒不安定  
 胃が悪い  
 食事

計 12

悩みの件数は12件と他項目よりは少ないが、内容的には大変深刻な問題を抱えていることが分かる。この回答は氷山の一角と思われるので、学生全体のサポートが大事である。初めての一人暮らしで不安を抱えており、大人になりきれていない。

表7 「友人作り」の不安の内訳

友達ができるかどうか	11
人見知りする	9
編入生なので溶け込めるかどうか	8
知り合いがいない・少ない	5
人付き合いが苦手	4
同じ出身校がいない	3
気の合う人がいるか	2
県外なので方言が心配	2
地元の人がない	1
同じ学校から行く子がみんな知らない人だから	1
同年代の人を前にすると萎縮してしまうから	1
まわりと年齢がちがうので	1
部活にはいれるか否か	1
最初の一步の踏み出しが苦手	1
計	50

この項目は心理の学生が多かったが、内向的な学生が不安を漏らしているようだ。

表8 「経済的問題」の不安の内訳

バイトができるかどうか	6
一人暮らしの生活費その管理	5
一人暮らしの料理	3
通学費不安	1
仕送りがないので	1
母子家庭で経済的に厳しい	1
父子家庭なのでお金の問題があります	1
バイト、学業、部活の両立	1
親に負担をかけたくないが時間はあるか	1
学費高い、遠路のため交通費も高い、払っていきけるか	1
計	21

経済的に厳しい深刻な様子が伺える。一人暮らしのお金の管理や料理など不安を感じていて、やはりここでも大人になっていない若い学生の様子が伺える。

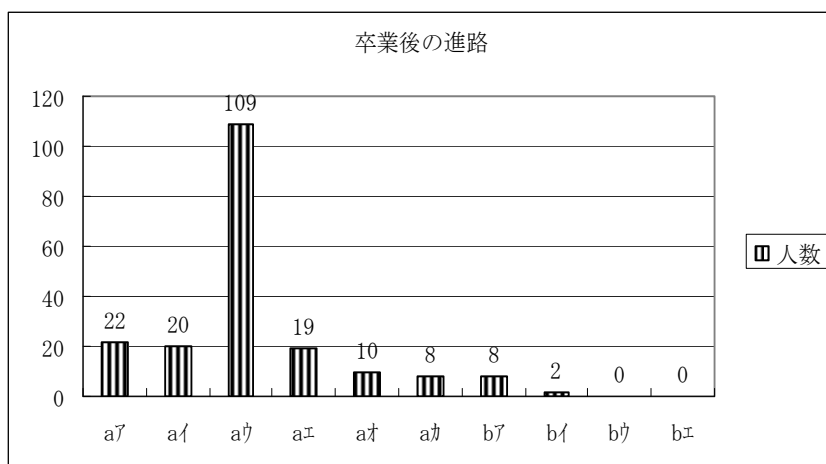
表9 「その他」の不安の内訳

遠いので通学に不安	4
硬式野球部がない	1
ひたくりや泥棒	1
短大では担任制で単位などしっかり伝えてもらったが大学はどうか	1
計	7

遠距離通学不安が4件ある。経済的不安の原因にもなっている。Q6にある駐車場の問題とも関係があると思われる。

Q5. あなたは現時点で、卒業後の方向についてどう考えていますか

「何らかの方向を考えている」が86%、まだ考えていないが14%である。



- aア 一般企業
- aイ 公務員
- aウ 教員
- aエ 福祉関係
- aオ 病院
- aカ その他
- bア 大学院
- bイ 専門学校
- bウ 留学
- bエ その他

図8 卒業後の進路

卒業後の進路で「就職する」と答えた学生で、就職したい先を「教職」としている学生が最も多く(109名)、つづいて「一般企業」、「公務員」という結果となった。

a 就職する (ア～カは上のグラフに対応) b 進学する c その他 d まだ考えていない (下図)

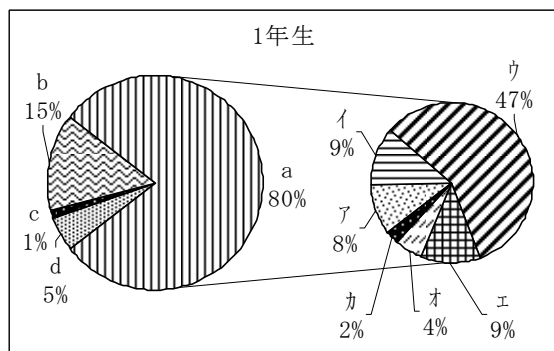


図9 卒業後の進路1年生

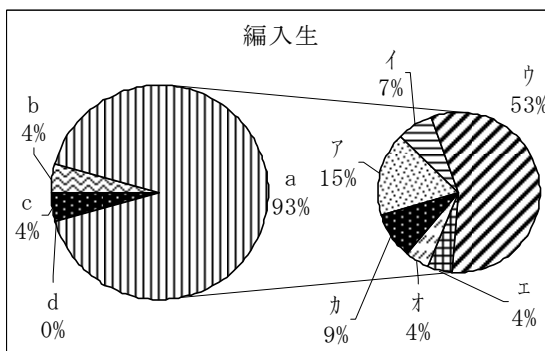


図10 卒業後の進路編入生

卒業後の進路に対しては、新入生・男女ではほぼ同一な結果になったのに対し、編入生は「就職する」と答えた学生の割合が10%以上高くなっている。また、編入生の回答には「まだ考えていない」と答えた学生は全くおらず、新入生と比較した場合将来に対する意識がより高いと判断できる。

Q6 その他何かあったら書いてください。

表10 その他

---

わからないことだらけなのでよろしく  
 友達たくさん作って楽しくがんばります  
 在学中に留学ができるか  
 カリキュラム、単位がわからない  
 健康コースで認定心理士とれるか  
 発達心理学をすみからすみまで学びたいです  
 頑張っていきたいです  
 硬式野球したい  
 不安だらけだが、自分で決めたので親孝行できるようにがんばる  
 駐車場学内に欲しかった

---

2006年度新入生の学生アンケート調査は、全体的に昨年度と傾向は同じである。本学に入学した目的は、自分にあった分野、自分にあった学力で資格取得ができるからである。半数の学生が教師を目指しているが、免許取得の勉強についていけるか不安を抱えている。我々教師側もさまざまな葛藤を抱えた学生たちが入学してきていることを意識し、きめこまかな支援、指導をしなければならぬと思う。

参考：2005年4月実施学生アンケート調査の結果報告

資料